

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 保
	全体計画						経費区分		-		内線	3412
事務事業名	4162 農業経営基盤強化対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	15012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	事業	040000 農業経営基盤強化対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域の中心的な農業者である認定農業者を支援し、農業活性化すること						農業者の経営を安定させるため農地集積や研修を支援している。 農業者の大規模化や経営安定に効果がある。 国の補助制度を活用して担い手確保の観点から農業用機械施設導入を支援した。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
認定農業者 126人	認定農業者 130人 担い手確保・経営強化支援事業補助金による支援
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	認定農業者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	130	130	130	130	130	
	実績						
指標選定の理由	地域の担い手として重要な役割を果たす認定農業者の数を指標とした。						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決算	令和3年度 予算
事業費		2,795	2,994
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	450	0
	地方債	0	0
	その他	100	516
一般財源		2,245	2,478
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.6	0.6
	臨時職員	0.4	0.0
人員 コスト	正規職員	3,484.0	3,484.0
	嘱託職員	1,889.4	1,889.4
	臨時職員	671.2	0.0
	計	6,044.6	5,373.4
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		8,839.6	8,367.4

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	46	消耗品費46
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	81	負担金81
その他	2,668	報酬1,897 職員手当等316 共済費329 旅費27 役務費99

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	123	消耗品費123
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	14	負担金14
その他	2,857	報酬1,993 職員手当等319 共済費365 旅費48 役務費132

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	農業者の経営を安定させるため農地集積の推進や、農業者の大規模化や経営安定に向け支援を実施する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	農地中間管理機構を活用し、農地集積を進めることができている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国の補助事業を活用しながら、財源確保に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

中間管理機構を通じた農地の貸し借りが進んでいる。
 今後、高齢化が進む中で離農者が増えることが予想されることから、離農者の情報収集などにより更なる農地集積が必要である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）	次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
農業委員会事務と被る部分が多い市民サービスの観点から事務の統合を検討		農地の集積化や大規模化による経営安定に有効な事業である。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント